

<対策のポイント>

国が策定する生産から販売・輸出に至る総合戦略に基づき、国内外の需要を見据えた養殖業の成長産業化を実現するための関係者の取組への支援、低コスト・高効率飼料等の開発など、養殖生産の三要素である餌、種苗、漁場に関するボトルネックの克服等に向けた技術開発・調査を実施します。

<政策目標>

主な栽培漁業対象魚種及び養殖業等の生産量の増加（1,739千トン [令和4年度まで]）

<事業の内容>

1. 戦略的養殖品目総合推進事業

- 養殖業の成長産業化を実現するための関係者の取組や総合戦略に応じた具体的行動計画の策定に必要な情報の調査・分析・検討等を支援します。

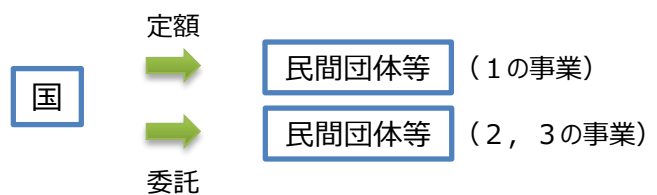
2. 養殖業成長産業化技術開発事業

- 生産コストの削減を図るために、養殖対象種の消化生理に基づいた低価格・高効率飼料の開発、純国産魚粉代替原料の生産技術の開発等を行います。
- 市場で高い評価を受ける養殖対象種の生産性向上に必要な生産技術の高度化や優良系統の作出等を行います。
- 輸出拡大に必要な養殖魚類等の品質保持技術の実用化に向けた技術開発等を行います。

3. 養殖業成長産業化環境整備事業

- 地下海水を活用した陸上養殖適地、サケ・マス類の海面養殖に必要な淡水における種苗生産適地の調査等を行います。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

戦略的養殖品目総合推進事業【補助事業】

- 総合戦略（仮称）に基づく連携や具体的な行動計画の策定等を支援
- 日本真珠の競争力強化のための協議会開催や品質基準策定等を支援

課題

- 【餌】**
 - 生産コストの大半が飼餌料代
 - 配合飼料価格が高価かつ不安定
- 【種苗】**
 - 優良な系統の開発等が進んでいない
- 【漁場】**
 - 日本には養殖可能な静穏水域等が少ない

養殖業成長産業化技術開発事業【委託事業】

- 飼餌料コスト低減対策**
生産コスト削減を図るため、
➢ 養殖対象種の消化生理に基づく低価格・高効率飼料を開発
➢ 水素細菌を原料とする純国産魚粉代替飼料の生産技術を開発
- 優良種苗開発等養殖生産高度化対策**
生産性を向上させるため、
➢ サケ・マス類等の生産技術を高度化
➢ サケ・マス類、ハタ科魚類等の優良系統を作出
 トラウトサーモン（海産エジマス）
- 養殖魚加工流通対策**
輸出拡大を図るため、
➢ 養殖魚類等の褐変防止技術を開発
 課題 時間経過で血合が褐色に 商品価値が低下 褐変防止技術開発
- 養殖業成長産業化環境整備事業【委託事業】**
養殖適地を確保するため、
➢ 地下海水を活用した陸上養殖適地の調査を実施
➢ サケ・マス類の海面養殖に必要な種苗生産適地の調査等を実施
 陸上養殖施設の例

養殖業の成長産業化

【お問い合わせ先】 水産庁裁培養殖課（03-3502-0895）
水産庁研究指導課（03-3591-7410）